

移動式処理事業について



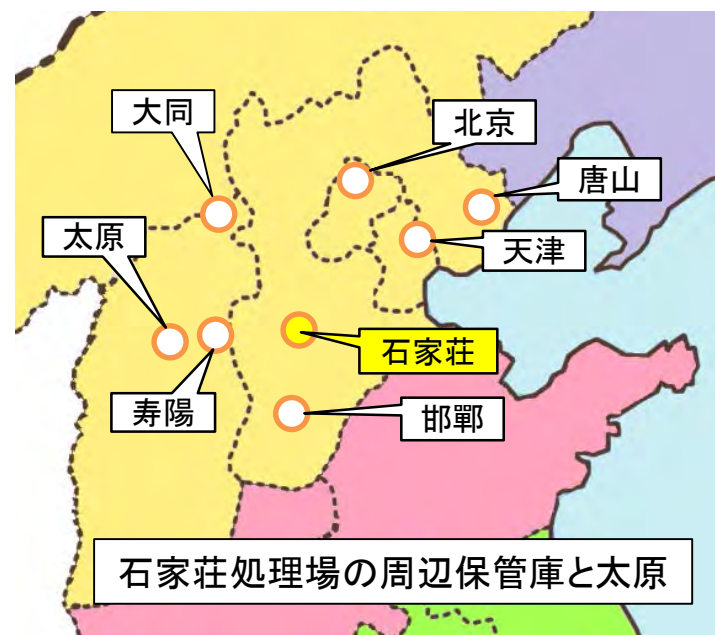
平成27年3月4日(水)
第14回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

1. 石家荘処理場の廃棄処理再開
2. 武漢の廃棄完了と処理設備の日本返送
(改造後、ハルビンへ)
3. ハルビン処理場の敷地造成等の開始

石家莊移動式処理事業

【進捗状況】

- 2014年は周辺の6保管庫から322発の砲弾等を輸送し、309発の砲弾等を処理した。
 - 2014年11月、処理設備の排気筒から基準値を超えるダイオキシンが検出されたとの報告があり、中国側からの要請を踏まえ15発を残し今年度の廃棄処理を終了。現在、日中で原因を究明中。
- ※石家莊には輸送前7発の砲弾が所在し、輸送した322発にはきい剤補給容器4缶が含まれる。このため、2014年の当初の処理予定は325発(=7+322-4)。うち一発はX線鑑定の結果、通常弾として中国側に引き渡した。



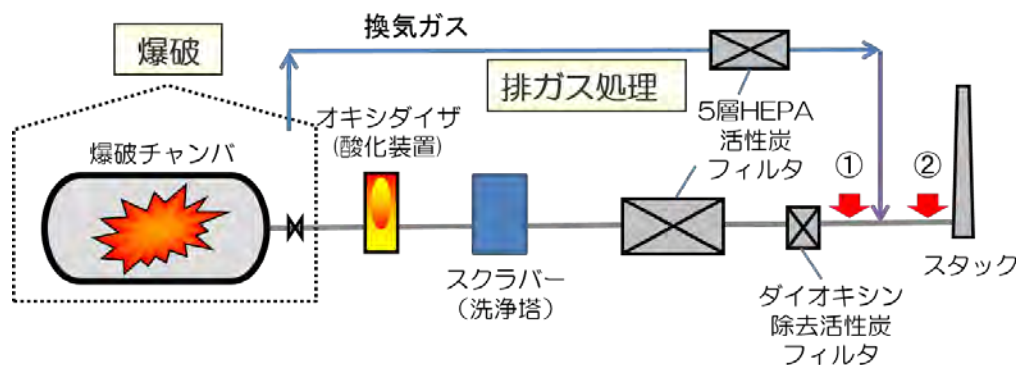
【今後の見通し】

- 天津及び太原において当初の処理予定を大幅に上回る数の砲弾が回収されたため、それらの砲弾処理で生じる廃棄物を収容するための保管庫を増設する。
- 発掘・回収が終了している天津から594発の砲弾等を輸送し廃棄のうえ、太原で発掘・回収された砲弾(2月10日現在で247発)を輸送・処理し、最後にきい剤補給容器の廃棄処理を行う。

石家荘処理設備におけるダイオキシン問題への対応

これまでの対応と今後の予定

2014年11月11日	問題発生後直ちに、処理設備を点検し、日中双方の専門家による早期の協議実施を提案。
12月24日	北京で日中専門家会合を開催。
2015年 1月29日	中国側より武漢処理設備の測定結果には問題なしとの連絡。
1月31日	藤江・横浜国立大学教授による石家荘処理設備の視察。
2月 3日	日本及び中国における検証試験に中国側専門家への立ち会いを要請。
3月11日	岡山県玉野市において試験機を用いた検証試験。(石家荘と同様の条件で運転する試験機に前駆物質を投入し、500℃～800℃でダイオキシン類が気相合成されるかを検証。)
3月下旬	石家荘処理場において実機を用いた検証試験。

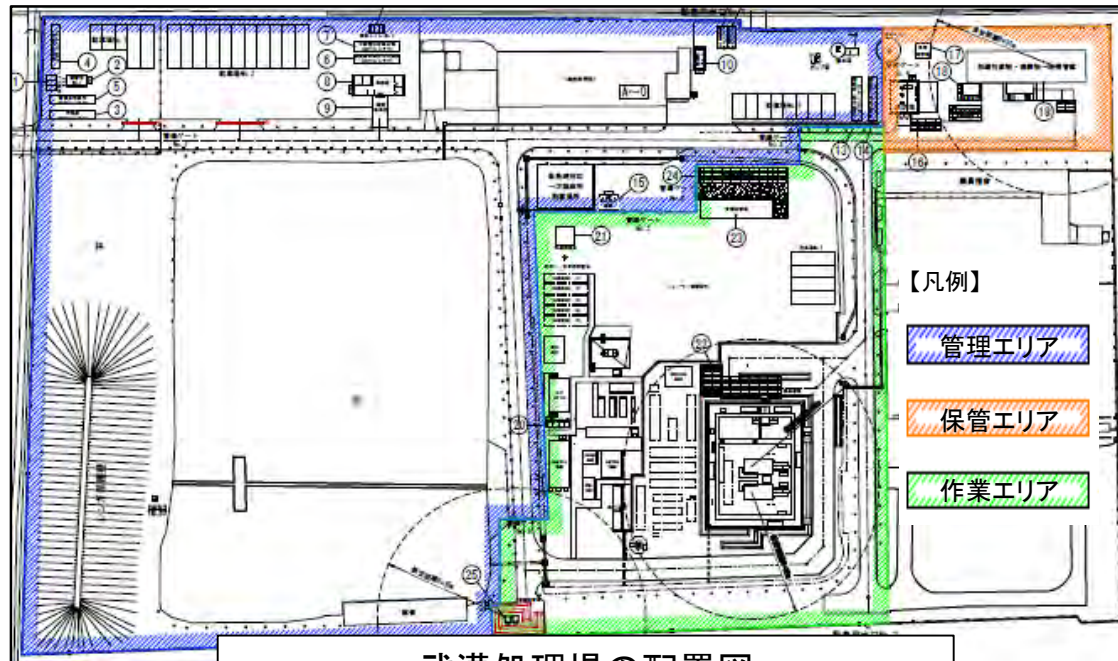


「両国政府は、人の安全を確保し及び環境を保護することを最も優先させることを前提に、可能な限り早期に中国における日本の遺棄化学兵器の廃棄を完了する」(2012年4月29日の覚書)との立場に則り、誠実かつ迅速に対応しつつ、本年夏の早期廃棄処理再開を追求。

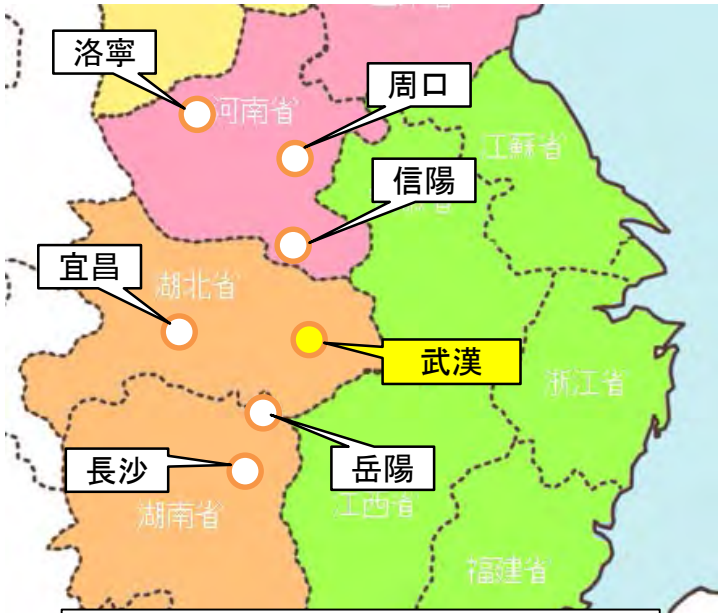
※ 上図は制御爆破処理の排ガス・換気ガスのフロー図。石家荘では①、②及び周辺大気6カ所所で測定し、②で基準値を超過したとの報告があった。(同時に測定した①と周辺大気は基準値未滿。)

【進捗状況】

- 河南省(済南軍区)の3保管庫から121発の砲弾等を輸送し、すべて処理した。



武漢処理場の配置図



武漢処理場の周辺保管庫

【今後の見通し】

- 湖北省、湖南省の4保管庫から139発の砲弾等を3月末までに輸送し、一部をX線鑑定のうち、来年度はじめに廃棄する。
- 上記の廃棄を以て武漢における廃棄処理は終了し、処理設備を解体・撤去のうち、処理場用地の返還のための交渉を行うこととなる。

【移動式処理事業の現状】

- ✓ 処理対象砲弾は、広州よりもハルビンの方が圧倒的に多い。
(2014年末現在で、広州で処理予定の砲弾は314発。対してハルビンで処理予定の砲弾は、中国側との協議・確認が必要であるが約5000発。)
- ✓ 武漢における処理が終了しても、広州における処理開始の見通しは立っておらず、処理設備が遊休化するおそれ。

上記及び「可能な限り早期に中国における日本の遺棄化学兵器の廃棄を完了する」との立場から、昨秋、日本側より中国側に対して、武漢における処理終了後、設備を一旦、日本に持ち帰り、必要な改造を施した上で、ハルビンに展開させる提案を打診。中国側からは肯定的な反応が得られた。

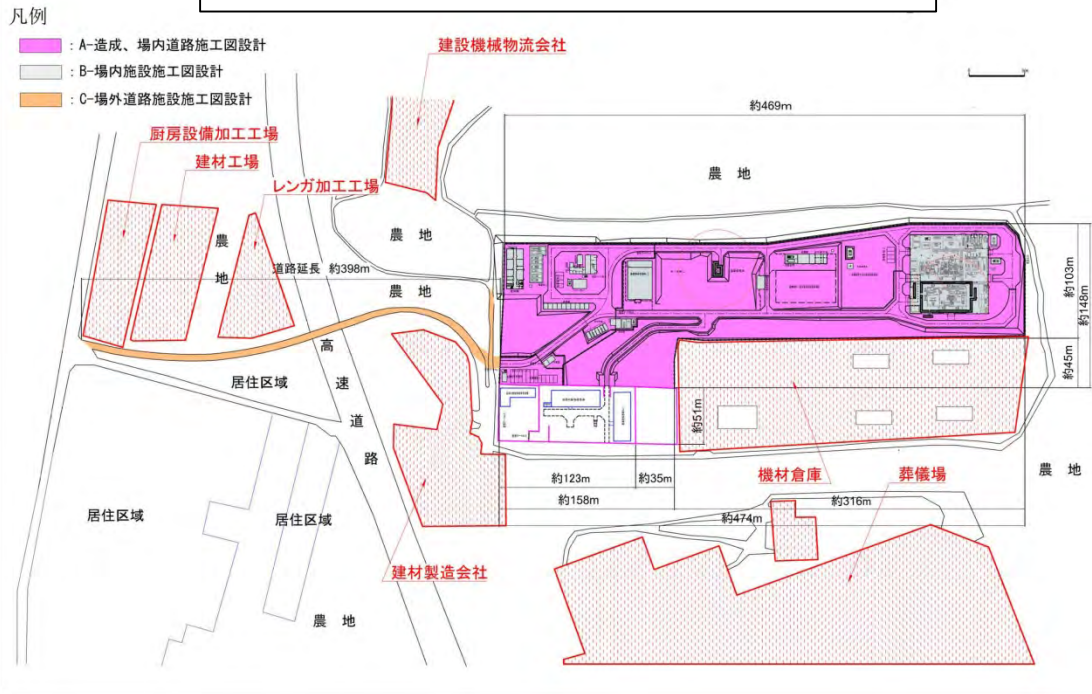
【期待される効果】

武漢で稼働中の処理設備は2個チャンバーを備えており、石家荘で稼働中の1個チャンバーの処理設備よりも、単位時間あたりの処理可能数は単純計算で2倍となる。処理対象砲弾が多く、かつ厳冬期に休止期間があり稼働時間が限られるハルビンに、石家荘ではなく武漢の処理設備を展開することにより、移動式処理事業全体の終了時期を早めることができると期待される。

【進捗状況】

○ 2014年10月、場外アクセス道路建設工事の入札が行われた。

ハルビン処理場の配置計画図



アクセス道路から処理場予定地を望む

【今後の見通し】

- 中国側は、厳冬期明けの4月に場外アクセス道路工事を着工予定。
- その後、処理場予定地内の伐採や既存構築物の解体、造成を実施予定。